

醸造用無菌 フィルター



1 号 型



2 号 型



灘機工株式会社

本社 神戸市中央区京町79 日本ビル
電話 (078)331-0803

東京営業所 埼玉県さいたま市北区宮原町
1-375-101
電話 (048)652-6121

従来、酒造技術委員会等で研究課題となっていました密閉タンクの空気清浄装置は、昭和43年初め大倉酒造株式会社の技術研究陣と神戸灘珙郷(株)の技術部とのタイアップにより醸造用無菌フィルターを開発完成しました。その実験結果の優秀性は既に醸造論文集 第24輯 91頁に発表されている通りです。特に昨年より無サリ問題の関係で従来より一層の除菌・殺菌等の清浄化が要求され、当無菌フィルターが依然その威力を発揮することと確信いたします。

弊社におきましては、上記無菌フィルターを取付けたポリカボネート製安全器を完成し、昭和43年11月より全ての密閉タンクに取付けて販売いたしておりますが、それ以前の密閉タンク並びに他社製品

につきましては、当ポリカボネート製安全器に取替えていただくか、または従来の安全器に無菌フィルターをセットして清酒貯蔵管理の安全に万全を期していただきたく存じます。

● 取付け方法は裏面で詳しく説明いたします。

■ 無菌フィルターの特徴

1. 火落菌や雑菌が入らないので菌による火入後の貯蔵タンクの酒質変化に心配がない。
2. 無菌フィルターが湿っていても空気が流通するので火入後の減圧によるタンク破損のおそれがない。
3. 価格が低廉である。

■ ポリカボネート製安全器の特徴

1. 無臭性…清酒に変な香りがつかない。
2. 耐酸性…有機酸アルコール等に最も安定している。
3. 耐熱性…100°C (-) +130°C に変化がない。
4. 対衝撃性…4 mの高さより落しても歪み破損はない。
5. 衛生的…セットしたまゝ、内部が見えるのでフィルターの洗浄過程が見易い。

■ ポリカネート製安全器の種類

1. 1号型(小型)…
14.4Kℓ (80石)以下のタンクに使用。
2. 2号型(大型)…
18Kℓ (100石)以上 45Kℓ (250石)タンクに使用。

醸造用 無菌フィルター

■ 無菌フィルターに関する注意

1. 清酒移動の際輸送ポンプを御使用の場合は、従来通りに必ずマンホールの蓋を開けてから作業をして下さい。

2. 無菌フィルターは火入毎に取替えて下さい。

3. 通気量は0.05cc/cm²/毎秒です。

即ち通気量：0.05cc/cm²/毎秒 1 分間：3.0cc/cm²

1 時間：180cc/cm² 1 日：4,320cc/cm²

● 温度変化に伴う内部液体(水)の容量変化は下表の通り

(計算基礎：1°C 当り1/2,000とする 但し4°C <Temp<70°C とする)

Kℓ	1°C	10°C	20°C
18	9 ℓ	90 ℓ	180 ℓ
14.4	7	70	140
10	5	50	100

● 現在使用中の無菌フィルターの通気量

有効Dia	有効面積	秒	分	時	24時
50 $\frac{m}{m}\phi$	19.7 cm ²	0.987 cc	59.2 cc	3.55 ℓ	85.3 ℓ
55	23.7	1.185	71.1	4.26	102.2
112	98.8	4.94	296	17.76	426

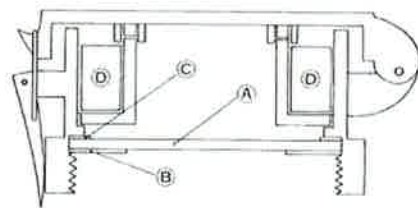
従って 有効 Dia 50~55 $\frac{m}{m}\phi$ の場合 14.4kl以下 (自然冷却)
有効 Dia 112 $\frac{m}{m}\phi$ の場合 18kl以上~45klに使用可能

4. 尚無菌フィルターは各タンクメーカーにより寸法が違います

ので御注文の際は必ずタンクメーカー名及び安全器の寸法を御指示下さい。

● 砲金製大型安全器

(タンクの肩に取付けてある検尺口と安全器と併用金具)



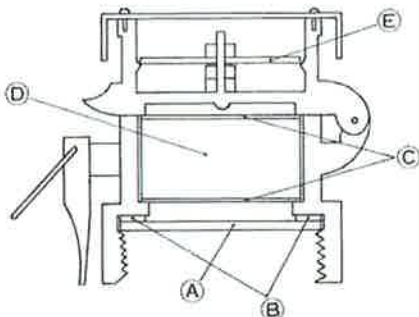
- ① 醸造用無菌フィルター
- ② テフロン押え
- ③ ゴムパッキン
- ④ ドーナツ型スポンジ(必ず取除いて下さい)

● 無菌フィルター取付順序

1. タンクより安全器を取る
2. タンクとの接触面のゴムパッキン③を取り出し新しいゴムパッキンに取替えてはめる。
3. 無菌フィルター①をはめこむ
4. 押えとしてテフロン押え②を入れてタンクに取付ける。

● 砲金製小型安全器

(タンクのマンホール蓋に付いている金具)



- ① 醸造用無菌フィルター
- ② ゴムパッキン
- ③ スポンジ押え金具
- ④ スポンジ
- ⑤ ゴム板

● 無菌フィルター取付順序

1. タンクマンホール蓋に付いている安全器を取りはげしゴムパッキン②を新しいゴムパッキンに取替えてはめる。
2. 無菌フィルター①をはめこみ蓋に取り付ける。
③④⑤は取り除いて下さい。